

昨年 3 月に発生した東日本大震災から、1 年 9 ヶ月が経過いたしました。

この間、市といたしましては、「市復興ビジョン」をいち早く策定し、本市の目指すべき「復興の姿」を明らかにした上で、「市復旧計画」に基づく公共施設や社会基盤等の復旧に全力を挙げて取り組むとともに、当ビジョンに基づき、具体的な取組みや主要な事業を掲げた「市復興事業計画（第一次）」を昨年 12 月に策定し、その着実な推進に努めてまいりました。

その結果、生活環境の整備や経済・産業の再生・創造など、復興事業の確実な進展が図られ、徐々にではありますが復興の槌音が響き始めております。

しかしながら、震災の爪痕はあまりにも大きく、今なお多くの市民の皆様が震災前の平穏な生活を取り戻すことがかなわず、大変なご苦勞をされております。

このことから、一日も早い復興の実現とふるさとといわきの再生を図るため、「市復興事業計画（第一次）」に位置付けた取組みについて、市民の皆様へのニーズや環境の変化に応じた見直しを行うとともに、本市の復興に欠くことのできない取組みについては新たに計画に位置付けるなど、市行政経営市民会議での議論等も踏まえながら、この度「復興事業計画（第二次）」を取りまとめたところであります。

今後におきましても、市民の皆様が復興に向かう本市の姿を実感し、将来に希望と期待が持てるよう、「日本の復興をいわきから」との想いをさらに強くしながら、市民の皆様への安全・安心の最大限の確保と震災前にも増して活力に満ち溢れた持続可能なまちの創造に向け、オールいわきのチーム力を結集し、私が先頭に立って全力で取り組んでまいります。

この計画が、被災者の皆様をはじめ、すべての市民の皆様が平穏な生活を取り戻し、明日へ力強く歩みを進めるための一助となることを切に願います。

平成 24 年 12 月

いわき市長 渡 辺 敬 夫